

長野県の農林水産業の概要

特徴・取組

長野県は、東西約120km、南北約212kmと南北に長く、全国4位の広い県土（1万3,562km²）を有し、日本の屋根と呼ばれる日本アルプスなど、四方を2～3千m級の山々に囲まれ、四季折々の変化に富んだ美しい自然に抱かれ、気温の年較差・日較差が大きい内陸性気候である。

地形が複雑で南北に長いため、平均気温、降水量、日照時間が地域により大きく異なる。また、耕地の約8割は標高500～1,500mに位置し、水田の約3割は傾斜地（1/20以上）に存在している。

長野県内総生産（名目）は8兆9,182億円（令和4年度長野県の県民経済計算）で、基幹産業は2兆7,037億円を占めている製造業（構成比30.3%）となっている。

農林水産業は、変化に富んだ自然条件や、三大都市圏に近い立地条件を活かし、園芸作物、米、きのこ類など多彩な生産が行われ、水稲の10a当たり平年収量が高いことが特徴である。

特に、野菜、果樹、花き等の園芸作物の生産額は、全国上位となっている。なお、平成28年7月に「市田柿」（干し柿）、平成29年5月に「すんき」（赤かぶの漬物）が地理的表示（GI）法に基づき登録された。令和3年6月に、日本酒とワインが国税庁所管の酒類の地理的表示制度に基づき指定を受けた。

長野県では「第4期長野県食と農業農村振興計画」（令和5年度～9年度）を策定し、産業としての農業を振興するため、①「皆が憧れる経営体の育成と人材の確保」として、売上額10億円以上を目指す大規模法人の育成を目的とした研修からその後のフォローアップなどによる農業リーダーの育成、②「稼げる農業の展開と信州農畜産物の持続的な生産」として、りんご高密度植栽培やぶどう「クイーンルージュ®」の導入等を促進するため、現地推進チームによる生産拡大や本県オリジナル品種等の魅力発信により、日本一の果樹産地を目指して、果樹生産者の稼ぐ力の向上や学校給食での有機農産物等の活用など市町村が主体となって取り組む有機農業の産地づくり、③「マーケットニーズに対応した県産農畜産物の販路開拓・拡大」として、本県の強みである「ぶどう」、「コメ」、「花き」を輸出重点品目として設定し戦略的な輸出拡大、に取り組んでいる。

また、県では、「信州プレミアム牛肉認定制度」に基づいた「信州プレミアム牛肉」、県が開発した果樹の新品種やレタスなどを紹介するために、「おいしい信州ふーど」という統一ブランドをつくり、県産農畜産物の消費拡大に取り組んでいます。

主な農林水産物

米

気候・風土や技術水準の高さ等から1等米比率は9割を超えており、10a当たり収量（ふるい目幅1.70mmベース）も高い。

（10a当たり収量（ふるい目幅1.70mmベース）全国1位）



セルリー

冷涼な気候のもとで栽培し、5～11月に、低温輸送により鮮度を保持して出荷。

（収穫量全国1位）



レタス

代表的な高原野菜。最先端の保冷技術により全国へ出荷。

（収穫量全国1位）



はくさい

冷涼な気候により、夏場でも品質が高く、秋には一段と柔らかさと甘みが増す。

（収穫量全国2位）



アルストロメリア（切り花類）

主な産地は、上伊那（かみいな）地方。栽培技術・品種改良により、通年出荷。色どりが豊富で、花持ちが良いと高い評価。（出荷量全国1位）



カーネーション（切り花類）

県内で最も生産量が多い花き品目。色や形、咲き方等が多彩なことが特徴。定番商品として、市場や生花店に人気。（出荷量全国1位）



ぶどう

「巨峰」は全国有数の生産量を誇る。種なしで皮ごと食べられる「ナガノパープル」「クイーンルージュ®」は、本県のオリジナル品種。（収穫量全国2位）



りんご

県内で最も生産量の多い果実。「ふじ」を中心に、信州生まれのりんご3兄弟®（秋映（あきばえ）、シナノスイート、シナノゴールド）が好評。（収穫量全国2位）



ぶなしめじ

人工栽培発祥の地。カリウムを多く含み、低カロリーで食物繊維が豊富。（生産量全国1位）



えのきたけ

全国のえのきたけの約6割を生産。県内で数多くの品種を育成。

（生産量全国1位）



長野県内の各地域における農林水産物

長野地域

【農産物】水稲、そば、スイートコーン、やまのいも、りんご、ぶどう、もも、すもも、西洋なし、くり、プルーン、アスパラガス、トルコギキョウ（切り花類）
 【林産物】えのきたけ、ぶなしめじ

北アルプス地域

【農産物】水稲、そば、りんご、ぶどう（ワイン用）、アスパラガス、りんどう（切り花類）、カーネーション（切り花類）

松本地域

【農畜産物】水稲、やまのいも、りんご、ぶどう、西洋なし、レタス、すいか、乳用牛、肉用牛、シクラメン（鉢もの類）トルコギキョウ（切り花類）
 【林産物】わさび（根茎、葉柄）
 【水産物】ます類、にじます

木曽地域

【農畜産物】そば、はくさい、すんき（赤かぶ）、アルストロメリア（切り花類）、肉用牛
 【林産物】ひのき

南信州地域

【農畜産物】水稲、りんご、日本なし、西洋なし、もも、すもも、干し柿（市田柿）、アスパラガス、乳用牛、肉用牛
 【水産物】あゆ

北信（ほくしん）地域

【農産物】水稲、りんご、ぶどう、もも、すもも、プラム、西洋なし、アスパラガス、ズッキーニ
 【林産物】えのきたけ、ぶなしめじ、エリンギ、なめこ

上田地域

【農産物】水稲、そば、レタス、ブロッコリー、ぶどう、りんご、トルコギキョウ（切り花類）、りんどう（切り花類）、スターチス（切り花類）
 【水産物】あゆ

佐久（さく）地域

【農畜産物】水稲、レタス、はくさい、ブロッコリー、カリフラワー、ズッキーニ、もも、プルーン、りんご、カーネーション（切り花類）、乳用牛、肉用牛
 【水産物】ます類、にじます、こい

諏訪地域

【農産物】水稲、そば、セルリー、カリフラワー、カーネーション（切り花類）、トルコギキョウ（切り花類）、シクラメン（鉢もの類）、スターチス（切り花類）

上伊那（かみいな）地域

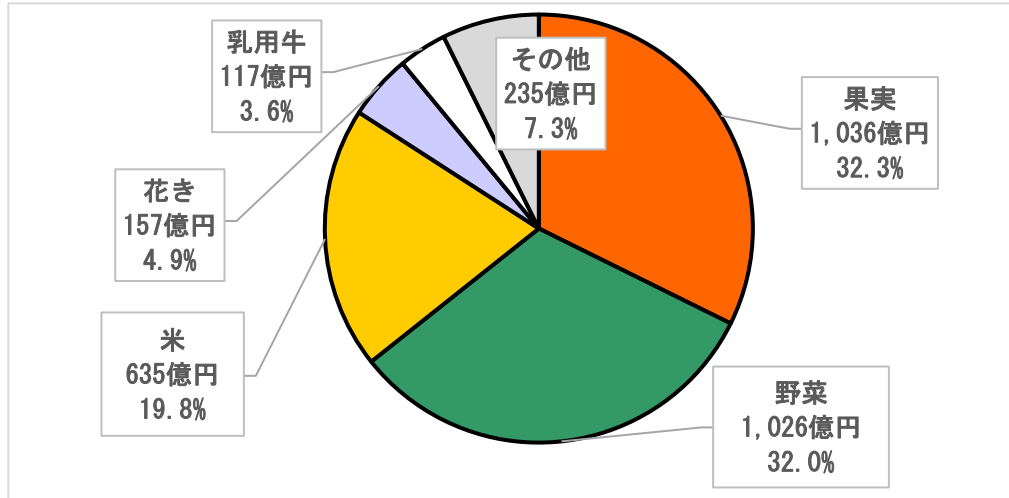
【農畜産物】水稲、そば、アスパラガス、ブロッコリー、りんご、日本なし、アルストロメリア（切り花類）、トルコギキョウ（切り花類）、シクラメン（鉢もの類）、乳用牛



長野県の農業（1）

- ・農業産出額は3,206億円で全国11位。うち米が635億円（19.8%）、野菜が1,026億円（32.0%）、畜産が280億円（8.7%）。
- ・農畜産物の生産状況は、セルリー、レタス、カーネーション、アルストロメリア、トルコギキョウ、プルーン、ズッキーニが全国1位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	長野県	全国	全国順位
セルリー	収穫量	R6 12,000 t	28,900 t	1
レタス	収穫量	R6 178,000 t	534,300 t	1
はくさい	収穫量	R6 225,900 t	827,000 t	2
ぶどう	収穫量	R6 32,100 t	164,600 t	2
りんご	収穫量	R6 106,400 t	609,200 t	2
カーネーション	出荷量	R6 36,500 千本	170,800 千本	1
アルストロメリア	出荷量	R6 21,900 千本	53,600 千本	1
トルコギキョウ	出荷量	R6 11,200 千本	78,300 千本	1
プルーン	収穫量	R5 1,107 t	1,906 t	1
ズッキーニ	収穫量	R4 3,230 t	10,800 t	1

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区分	長野県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	3,206 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	11
米	635 億円 (19.8)	25,524 億円 (23.7)	13
麦類	5 億円	582 億円	11 *
雑穀	6 億円	87 億円	4
豆類	5 億円	621 億円	16
いも類	21 億円	2,565 億円	13
野菜	1,026 億円 (32.0)	25,510 億円 (23.7)	7
果実	1,036 億円 (32.3)	10,112 億円 (9.4)	2
花き	157 億円	3,423 億円	5
工芸農作物	1 億円	1,577 億円	38
その他作物	20 億円	583 億円	5 *
畜産	280 億円 (8.7)	36,654 億円 (34.0)	33
肉用牛	68 億円	7,861 億円	30
乳用牛	117 億円	10,035 億円	12
生乳	108 億円	8,937 億円	12
豚	47 億円	7,567 億円	30
鶏	42 億円	10,170 億円	36
鶏卵	20 億円	5,764 億円	38
ブロイラー	20 億円	4,259 億円	26 *
その他畜産物	6 億円	1,021 億円	10
加工農産物	14 億円	565 億円	9

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

長野県の農業（2）

- ・耕地面積は10万3,800haで全国13位。うち田が5万700ha、畑が5万3,100ha。
- ・農業経営体数は3万4,825経営体で全国1位。うち法人経営体数が1,146経営体で5位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は6,628経営体で全国12位。うち法人数が980法人で5位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が9億円で全国1位、農業経営体数は90経営体で1位。

耕地面積

区分	長野県	全国	全国順位
耕地面積	103,800 ha	4,272,000 ha	13
田	50,700 ha	2,319,000 ha	16
畑	53,100 ha	1,952,000 ha	6
普通畑	36,100 ha	1,118,000 ha	5
樹園地	13,900 ha	248,600 ha	5
牧草地	3,070 ha	585,900 ha	9
参考) 総土地面積	13,561.57 km ²	377,979.74 km ²	4

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	長野県	全国	全国順位
荒廃農地面積	13,234 ha	256,667 ha	3

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	長野県	全国	全国順位
農業経営体数	34,825 経営体	836,054 経営体	1
法人経営体数	1,146 経営体	33,819 経営体	5
総農家数	82,542 戸	1,394,135 戸	1
販売農家数	32,879 戸	792,808 戸	1
参考) 世帯総数	832,097 世帯	55,830,154 世帯	16
集落営農数	368 集落営農	13,952 集落営農	17

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	長野県	全国	全国順位
担い手への集積面積	43,915 ha	2,627,068 ha	14
集積率	42.3 %	61.5 %	26

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	長野県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	44,909 人	1,036,228 人	2
男	27,331 人	659,332 人	3
女	17,578 人	376,896 人	2
65歳以上	32,259 人	721,311 人	1
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	71.8 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	6,628 経営体	212,136 経営体	12
法人数	980 法人	29,684 法人	5
参考) 人口総数	2,048,011 人	126,146,099 人	16

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	長野県	全国	全国順位	
農産加工	総額	38,748 百万円	1,006,107 百万円	8
	事業体数	1,610 事業体	26,910 事業体	1
農産物直売所	総額	49,518 百万円	1,134,381 百万円	4
	事業体数	920 事業体	20,960 事業体	4
観光農園	総額	2,117 百万円	39,113 百万円	6 *
	農業経営体数	340 経営体	4,350 経営体	2
農家民宿	総額	948 百万円	4,933 百万円	1 *
	農業経営体数	90 経営体	770 経営体	1
農家レストラン	総額	1,381 百万円	39,900 百万円	9 *
	事業体数	70 事業体	1,390 事業体	2

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

長野県の林業

- ・林業産出額は659.4億円で全国1位。うち木材生産が64.5億円、栽培きのこ類生産が584.3億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国15位、えのきたけ、ぶなしめじ、エリンギ、まつたけが全国1位、からまつ、あかまつ・くろまつが2位。

林業産出額

区分	長野県	全国	全国順位
林業産出額	659.4 億円	4,769.8 億円	1
木材生産	64.5 億円	2,369.4 億円	14
栽培きのこ類生産	584.3 億円	2,322.7 億円	1

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区分	長野県	全国	全国順位
素材生産量	455 千m ³	19,763 千m ³	15
針葉樹	444 千m ³	18,398 千m ³	14
からまつ	237 千m ³	1,733 千m ³	2
あかまつ・くろまつ	69 千m ³	459 千m ³	2
広葉樹	11 千m ³	1,365 千m ³	22
ぶなしめじ	生産量 47,429 t	117,536 t	1 *
えのきたけ	生産量 71,068 t	120,678 t	1
エリンギ	生産量 14,822 t	34,639 t	1 *
まつたけ	生産量 37 t	51 t	1 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区分	長野県	全国	全国順位
林野面積	1,026,385 ha	24,744,214 ha	3
国有林	324,204 ha	7,117,059 ha	7
民有林	702,181 ha	17,627,155 ha	3
人工林面積	438,339 ha	10,059,386 ha	3

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区分	長野県	全国	全国順位
林業経営体数	773 経営体	23,300 経営体	8
法人経営体数	159 経営体	3,813 経営体	4

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区分	長野県	全国	全国順位
製材工場数	110 工場	3,547 工場	10
製材用素材の入荷があった工場数	110 工場	3,492 工場	10
国産材のみ	96 工場	3,013 工場	10
国産材と輸入材	7 工場	386 工場	23

出典：「令和6年木材統計」

長野県の水産業

・水産物の生産状況は、内水面漁業のこいが全国10位、内水面養殖業のその他のます類が1位、にじますが3位。

漁業産出額

区分	長野県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	0 億円	14,785 億円	-
海面漁業	0 億円	8,894 億円	- *
海面養殖業	0 億円	5,891 億円	- *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	長野県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	0 経営体	65,662 経営体	-
内水面漁業経営体数	163 経営体	4,076 経営体	7

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	長野県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	0 人	121,389 人	-
男	0 人	109,757 人	-
女	0 人	11,632 人	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	長野県	全国	全国順位
漁船隻数	0 隻	109,284 隻	-
動力漁船	0 隻	58,907 隻	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	長野県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	- t	3,589,121 t	- *
海面漁業漁獲量	- t	2,786,195 t	-
海面養殖業収穫量	- t	802,927 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	1,296 t	47,046 t	9 *
内水面漁業漁獲量	3 t	17,915 t	35
こい	1 t	81 t	10
内水面養殖業収穫量	1,293 t	29,131 t	5
にじます	553 t	5,202 t	3
その他のます類	624 t	2,074 t	1

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	長野県	全国	全国順位
水産加工	総額	0 百万円	193,147 百万円
	事業体数	0 事業体	1,160 事業体
水産物直売所	総額	0 百万円	34,259 百万円
	事業体数	0 事業体	780 事業体
漁家民宿	総額	0 百万円	5,440 百万円
	漁業経営体数	0 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	0 百万円	13,511 百万円
	事業体数	0 事業体	380 事業体

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

長野県の農林水産業の話題等（1）

おいしい信州ふーど

信州の豊かな風土に育まれた農畜水産物、主原料が信州産の加工食品、信州の暮らしに根ざした郷土食などのこと。

その中でも特にこだわりの食材を「プレミアム」「オリジナル」「ヘリテイジ」「サステイナブル」としてブランド化し、その価値を県民と共有するとともに、県内外に広く発信、消費拡大や滞在型食観光の促進を図っています。

信州産の食材にこだわり、厳密基準に基づいた『プレミアム』

- 国税庁所管の「酒類の地理的表示」により、「GI長野」の指定を受けた日本酒・ワイン、長野県原産地呼称管理制度の認定品である日本酒・ワイン・米・焼酎・シードル、信州プレミアム牛肉、信州産シカ肉などが「プレミアム」。
- ・県産日本酒は令和6酒造年度全国新酒鑑評会において12銘柄が金賞を受賞している。
 - ・信州プレミアム牛肉は、従来からの基準（脂肪交雑＜サシの入り具合＞）にオレイン酸の含有量＜香りの高さや口溶けの良さ＞を加え、客観的に判断できる全国初のおいしさの新基準を採用。
 - ・信州産シカ肉は、「信州ジビエ衛生管理ガイドライン・衛生マニュアル」に沿ってシカ肉を衛生的に食肉処理・加工販売する施設を県と信州ジビエ研究会により認証。



長野県原産地呼称管理制度
(ワイン、日本酒、焼酎、シードル、米)

原産地呼称管理制度(NAC)及びGI長野(酒類の地理的表示「長野」)を適正に運用し、2026年2月現在、両制度の累計認定数は7,405品に達している。最新ではGI長野日本酒27品、ワイン31品、NAC焼酎3品を新たに認定し、県産品の品質保証とブランド力強化を推進している。



信州プレミアム牛肉
(オレイン酸の計測風景)

長野県独自の基準(BMS5以上×オレイン酸58%以上、BMS7以上×55%以上、BMS8以上×52%以上)を満たす黒毛和種のみを「信州プレミアム牛肉」として認定。県の衛生管理を受けた農場から出荷され、和牛輸出が拡大する米国・台湾・香港市場でも需要が高まっています。

長野県で開発された新品種



クイーンルージュ® ナガノパープル



信州サーモン



シナノリップ



信州黄金シャモ

長野県で開発された新品種『オリジナル』

ぶどう（クイーンルージュ®、ナガノパープル等）、りんご（シナノリップ、秋映、シナノスイート、シナノゴールド等）、信州サーモン、信州黄金シャモのように、長野県で開発された新品種が「オリジナル」。

- ・種苗法改正を受け、商標戦略を取る長野県の重要品種として「長果G11（クイーンルージュ®）」は海外への持出しは禁止、国内においても栽培を県内限定とした。
- ・銀色の身体が美しい信州サーモンは、育てやすく肉質のよいニジマスと病気に強いブラウントラウトを交配させ、両方の長所をそれぞれ持ち合わせた信州独自の新品種の魚であり、肉質が細かく、とろりととろける舌触りが特徴である。
- ・信州黄金シャモの父鶏には歯ごたえがあり最もおいしいという「シャモ」、母鶏には歯ごたえとコクに定評のある「名古屋種」を交配して開発された信州独自の地鶏です。羽色と料理の焼き色が黄金に輝くことから、料理研究家の服部幸應さんが「信州黄金シャモ」と名付けた。

長野県の農林水産業の話題等（2）

大切に守り、受け継がれている食の文化遺産『ヘリテイジ』

伝統的・地域固有的価値を有するもの『ヘリテイジ』

「信州伝統野菜認定制度」による地域に伝わる野菜や、「県選択無形民俗文化財」に指定された郷土料理・食文化（手打ちソバ、おやき、御幣餅など）が「ヘリテイジ」。

- ・信州には限られた地域で今日まで脈々と伝えられてきた伝統野菜が数多くあり、長野県ではこれらの野菜を「信州の伝統野菜」として選定・認定する制度を設け、保存と継承に取り組んでいる。
- ・信州の伝統食・郷土食という食文化の価値を見直し、先人たちから受け継いだ食の宝を次世代へ引き継いでいきたいとの思いから、長野県では他県に例のない「食の文化財」を県選択無形民俗文化財として指定、保護に取り組んでいる。



伝統野菜6種

左から野沢菜、常盤牛蒡、灰原辛味大根、坂井芋、前坂大根、戸隠大根



郷土食(おやき)

銀座 NAGANO しあわせ信州シェアスペース

季節によって変わる旬の野菜・果物や、おやきなどの郷土食など信州の豊かな風土と歴史に育まれた特産品が並ぶショップや信州が世界に誇るNAGANO WINEや日本酒を、テイスティング（試飲）して購入できるスペースなどで、信州の味覚を気軽に楽しめる。（2024年に10周年を迎えてリニューアル。）



信州の環境にやさしい農産物

以下の件数が認証されています。
(2025年12月22日)

- ・区分50-50(化学肥料・化学合成農薬を50%以上削減):293件
 - ・区分50-30(果樹限定、農薬30%以上削減+IPM評価B以上):61件
- 合計 354件

※ IPM評価:長野県が品目ごと(りんご、ぶどう、なし、もも等)に作成している「病害虫管理・雑草管理の実践状況を点数化する指標」で総合点に応じてA・B・C等に区分している。



環境に配慮した、やさしい食材『サステイナブル』

おいしさ等の農産物そのものの価値だけでなく、SDGsなど持続可能な生産・消費形態を意識する機運が高まる中、環境と調和した持続可能な生産を行う取組が「サステイナブル」。

- ・有機JAS
化学的に合成された農薬や肥料を使用しない等による方法で生産されたもの。
- ・信州の環境にやさしい農産物
土壌診断に基づく適正な土づくりを行ったほ場で、化学肥料及び化学合成農薬を県で定める「地域慣行基準」の原則50%以上削減した方法で生産されたもの。
- ・エコファーマー
土づくり及び化学肥料・化学合成農薬の使用を低減する技術を用いる計画を策定している農家により生産されたもの。
- ・GAP(Good Agricultural Practice)
GAPとは、農産物の安全を確保し、よりよい農業生産を実現する取り組みで、農家が自ら①食品安全②環境保全③労働安全等の視点から点検を行い生産されたもの。